

第2760地区

豊田ロータリークラブ



『ロータリーに誇りと自信を！魅力あるクラブを目指して』

http://www.toyotarc.jp

本日の例会

第2429回

日時 平成22年6月10日(木) 12:30~13:30
会場 ホテルトヨタキャッスル
内容 河木照雄君
ゲスト 太田錬治氏(豊田市産業部商業観光課長)
テーマ 「今年のおいでんまつり」
-今週の祝福-
ご夫人誕生日 6月14日 山田郁雄君ご夫人 みと子様

前回の例会

第2428回

日時 平成22年6月3日(木) 12:30~13:30
会場 ホテルトヨタキャッスル
司会 会場委員会 伴 征雄君
斉唱 国家『君が代』『奉仕の理想』
来訪者 中部名古屋みらいRC 川口 豊 様
米山奨学生 岳 博涵 さん

会務報告 会長挨拶 岡田勝美 会長



こんにちは。今日は、報告事項がいくつかあります。まず、白木さんが退会ということで、短い間でしたが、本当にありがとうございました。次の職場でも頑張っていたらと思います。また、米山奨学生の岳博涵さん、2年間お世話になりますけれども、勉強の方はもちろん頑張っておく訳でございますが、ロータリーの例会活動も十分に楽しんでいただきたいと思います。

先週に引き続き、中部名古屋みらいRCの川口会長に来て頂いております。中部名古屋みらいRCは皆さんご承知のように我々が作らせていただきました3つ目のクラブでございます。斎藤PGが特別代表として、大変ご尽力されて作られたクラブです。学友の皆様方がメンバーということで、非常に若いメンバーになっております。しかも、岐阜と愛知に跨ったメンバーという、非常に特殊なクラブであります。その1周年のお祝いが、先週の金曜日にありまして、私と天野幹事で出席して参りました。スポンサークラブとしてこれからご指導頂きたいというお願いをされました。要請があれば、対処していきたいとお返事をしておきましたので来年の幹事さん、よろしくお祈りします。

それから、今日のクラブフォーラムは環境保全週間ということで、早川委員長には非常にご苦勞をおかけしています。環境というのは今の時代、切っても切れないことでして、ロータリーの中でも環境問題を取り扱うRCが増えてきたということでもありますし、当クラブの鈴木元弘君も地区の環境保全委員会の委員長として頑張っておられます。COP10も近いということで、環境問題というのはこれからもっと盛り上がってくると思います。そんなことから、今日は環境ということで、例会をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。以上、報告とさせていただきます。ありがとうございました。

幹事報告 天野勝美 幹事

- 例会変更のお知らせはお手元の資料をご確認下さい。
本日例会終了後次年度理事役員予定者会議がございます。
名古屋中RC様より「40周年記念誌」が届いております。

委員会報告等

*中部名古屋みらいRC会長 川口 豊 様

再び豊田RCの皆様にお目にかかることができ、光栄なことと思っております。中部名古屋みらいRCはやっと一歳の誕生パーティを終えることができました。感謝申し上げます。



*米山奨学生 岳 博涵さん(中国出身)

4年前に来日して帝京大学で日本語を学び、現在は名古屋大学経済学研究科において、社会経済システムを専攻しております。2年間よろしくお祈りいたします。



*退会の挨拶 白木 隆 君

この度人事異動のため6/8をもって退会することとなりました。入会から7ヶ月と短い期間でもとても残念ですが、お世話になり、ありがとうございました。



*50周年記念事業部会 鈴木秀和君

「ジャズスーパーライブシリーズ」のチケットですが、たくさんの申込みを頂き、11/5分につきましては完売、他2公演も残りわずかとなりましたので、ご希望の方はお早めにご連絡ください。

クラブフォーラム

環境保全委員会委員長 早川文喜君



環境保全委員会の早川でございます。どうぞよろしくお願いいたします。皆さんの会社をはじめとする企業、行政、各種団体において様々な取り組みが行われています。市民レベルでも「出来るだけ地球に負荷をかけない生活を送りたい」、「エコライフを送りたい」という人が増えてきています。確かに市民レベルの活動は大きな組織のそれと比較すれば、ひとつひとつは小さいものだと思います。しかし、多くの人が取り組めば、大きな変化を生み出すと思います。今日は、市民レベルの活動にスポットライトを当て、市民レベルの活動の現状や市民の環境に対する意識の現状を知って頂く事により、環境保全へのアイデアの掘り起こしを図りたいと思います。

講師は、浅野智恵美さんをお願いを致しました。浅野さんは、市民が環境に対して、みんなで楽しく情報交換をしながら、出来ることから取り組むことを目的とした組織であります「とよた省エネ共和国」の代表を務めておられます。また、個人レベルでの活動の精度の高さや広い見識から、多くの組織に意見を求められ、大変ご活躍中です。今日は 市民目線のお話のほか、各種組織で得られた情報も含め、お話いただければと思っております。それでは、ご静聴の程、よろしくお願いいたします。

浅野智恵美氏(とよた省エネ共和国大統領)

『地球温暖化防止と私たちの暮らし』



環境省認定の環境カウンセラーをしております、浅野智恵美でございます。このような場にお招きいただきまして、ありがとうございます。今日は「どうする地球の明日～私達の暮らしと地球温暖化防止に～」というテーマでお話をさせていただきます。

今日は、市民目線というご依頼でしたので、もう1つの立場を申し上げますと、とよた省エネ共和国の大統領をしております。省エネルギーセンターというのが経済産業省の外郭団体でありまして、全国に173カ国の主要な共和国があります。現在、私達のとよた省エネ共和国には、34名の国民がおります。副大統領は、トヨタ自動車を定年退職された方で、私が大変尊敬しており、多くの所で助けて頂いております。2010年の私達の目標には「エコドライブの輪を広げよう・省エネの技を広げよう」ということを掲げました。一方で、家庭で取り組めるスマートライフと省エネの輪を広げ、仲間と楽しく取り組むを基本コンセプトにしています。

一方で、今日は「私達の暮らしと地球温暖化防止」という副題を付けさせて頂いたのですが、地球温暖化といいますが、皆様もご存知のように二酸化炭素が主原因となっています。18世紀の産業革命の頃から始まったといわれておりますが、その当時の二酸化炭素濃度は約270ppm、それに対して最新の4月のデータでは390ppmという数字が出ております。この僅か200年の間に1.4倍に増えているのですけれども、二酸化炭素は目に見えないですし、臭いもありませんし、手で触ることも出来ませんので、増えていることがなかなか実感できません。

【クイズ】『どちらが多く二酸化炭素を減らせるか?』

- ①A.お風呂の水を洗濯にも使う B.テレビを見る時間を1時間減らす
②A.使っていない機械のコンセントを抜く1日分の待機電力のカット B.1台のエアコンの温度を1度弱くする
③A.待機電力1日カット B.マイカーに乗る時間を10分間減らす
(正解は①B、②A、③B)

今日私も車で参りましたが、車をやめるということはなかなか出来ません。日本全国で郊外と呼ばれる地域では多くが同じ悩みを抱えています。そこで出てくるのが、近くなら徒歩や自転車、相乗りや計画的なルート設定というようなエコドライブという考え方です。名古屋市や経済産業省、JAFといった様々な団体がエコドライブを進めているところです。燃費が向上し、ガソリンが20%削減でき、それと同じように20%エコドライブをやれば二酸化炭素を減らせる。そして、安全運転で交通事故を減らせるというデータがはっきりと出ているそうです。それでは、市民の人達は動き出しているかといいますが、目標は分かったけどなかなか無関心層が多いです。未来に向けた交通・街づくりにはみんなが関心を持ち、関わる事が重要であるからこそ、巻き込む手法が必要になります。政策目標が入り口だとしますと、政策実行が出口になります。各セクターの積極的な関与と目標達成に全力を尽くす、または目標が達成できない場合は責任を明確にするコミットメントが重要になります。以前は、行政・事業者・市民というのは監視の体制でしたが、今では共同が必要になっております。市民が動き出せば、推進力は自ずと大きく変わります。今後に向けては、知っているから気付き、私達の生活に照らし合わせて、環境配慮行動を実行する人が増えることが大切になります。豊田市は、全国の13の都市の1つとして環境モデル都市に選ばれました。5ヵ年計画を作っておりまして、環境モデル都市・アクションプラン・ハイブリット式豊田プランを策定し、その計画は推進されていますが、残念ながらその成果はまだ十分に現れているとは言えません。目に見える形では市民に伝わっていないと思います。究極の目標は、2020年の中期目標である25%削減、そして2050年の長期目標の80%削減ですが、まずは交通行動のやさしさの連鎖として、市民の心に伝わるエコドライブで交通事故を削減という事を掲げて、設立総会が開かれたところです。ムーブメントを起こす必要があります。豊田エコドライブ実行委員会には25の事業者の方が関わられています。キャッチコピーは「エコドライブで交通事故削減」です。今年度は、10の事業者の方と一緒にモデル地域で実証実験を行い、研修などを行って、エコドライブを広げ、その成果を検証します。交通行動のやさしさの連鎖を

目指しているということですが、市民行動の中にまず、車を買うときにはエコカーを積極的に選び、運転はエコドライブを実践していく、そういうようなものが深く浸透し、輪が広がっていくことを願っているところです。「明日からでは間に合わない」というのがNHKのキャッチコピーなのですが、成功にかかるコストは失敗にかかるコストより安いと言われております。行動を起こし、支援していく取り組みと1人1人の環境配慮行動が鍵を握ります。社会も政策も変わらなければならない時にきています。時間との戦いは始まっているということで、ライフスタイルを大きく変えなければならないターニングポイントに私達は今立たされています。

最後に、参加型環境活動は市民だけではもちろん出来ません。企業の皆様の技術の専門性の高さ、行政の方のバランス感覚のあるサポートを頂きながら、パートナーシップを組んでいくことが重要になります。これを機会にご指導ご鞭撻頂けましたら大変うれしく思います。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

ニコボックス

本日の当番 佐藤博文 君



- 川口 豊様(中部名古屋みらいRC)
内容は「委員会報告等」に掲載
●岡田勝美君・天野勝美君
米山奨学生の岳 博涵さんの来訪に感謝すると共に、今後のご活躍を期待して投金いたします。
●斎藤直美君
中部名古屋みらいRC会長の川口教授のご来訪を、心より感謝申し上げます。
●杉浦正典君
今年度、岳博涵さんが米山奨学生として当クラブに参りました。これからの二年間、皆さんとの交流を通してロータリーの心を学んで下さると思います。会員の皆さんには心の通うお付き合いをお願いいたします。

- 鈴木幸伸君
今日は新しい米山奨学生の岳さんをご紹介いたします。これから2年間、彼女をサポートして頂けますようお願いいたします。
●早川文喜君
本日は環境保全委員会担当でクラブフォーラムを開催させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

- 鶴岡正男君
佐藤さんは互いに夫婦でゴルフを楽しめる貴重な友人であります。これからもよろしくお願いいたします。なお、本日は私の結婚記念日であります。31年間付きあってくれた家内に感謝し投金します。

友情投金
Table with 5 columns: Name, Amount, Name, Amount, Name, Amount

- 佐藤博文君
皆様のご協力を頂きまして、無事ニコ当番を終えることができました。皆様に感謝申し上げ、投金いたします。

出席状況
Table with 6 columns: Meeting Date, Member Count, Target Members, Absentees, Withdrawals, Attendance Rate

次回の例会

第2430回
日時 22年6月17日(木) 12:30~13:30
場所 ホテルトヨタキャッスル
内容 委員会報告

豊田ロータリークラブ
〒471-0034 豊田市小坂本町1-4-12
Tel 0565-32-5555 Fax 0565-32-5559
E-mail:office@toyotarc.jp HPhhttp://www.toyotarc.jp
会報委員会:小野雅道 山田郁雄 北川尚子 下地正孝 鈴木賢三 太田雄介